

No. 1685

決戦

—— 中・巨最終決戦 ——

130ゲーム目の最終戦に優勝をかけて戦う中日高木、巨人長嶋両監督。

ナゴヤ球場も早くからファンがつめかけています。8年前の騒動をくり返すまいと1200人の警察官と警備員を球場内外に配置しての厳戒体制です。

中日・巨人の応援合戦で超満員のスタンドは騒然とした雰囲気の中で試合開始。巨人打線を今中投手が三者凡退に打ちとったあとの1回ウラ中日はノーアウト2塁のチャンスに送りバントの失敗から2塁走者を殺してしまい絶好の先制機を逃します。

2回表巨人の4番落合、苦手とする今中投手から右中間に15号ソロホームラン、更に1死満塁から横原の2塁ゴロの間に追加点を上げ2:0とリード。しかし中日も2回裏無死満塁と横原投手を攻め中村のレフト前ヒットで同点にして横原をK.O.しますが2番手齊藤に抑えられ追加得点を奪えません。

3回表巨人は松井が走者を送るバントのあと落合のライト前テキサス・ヒットで2塁から川相がホームインして3:2と再び勝ちこします。更に4回には村田、コトーのホームランで5:2とし今中投手を降板させます。巨人は落合負傷退場後の5回、松井が2番手山田投手からライト上段へ20号ホームランを打ち6:2と巨人が大きくリードします。

中日も6回に1点を返し、8回には立浪がサード前のゆるいゴロで一塁へヘッドスライディングでセーフを奪ったものの左肩脱臼で退場のアクシデント。つづく4番大豊に期待がかけられていましたがライトフライで4打数ノーヒットに終わり中日ファンはがっかり。

7回から登板した巨人桑田はピンチを冷静に切り抜け9回ツーアウトから小森を三振に打ちとりゲームセット、6:3で巨人が優勝。巨人はセ・リーグ27度目、長嶋監督は17年ぶりの胴上げです。

惜しくも破れた中日高木監督も退陣をひるがえし優勝をめざしてスタートしました。来シーズンもまた熱戦を期待したいものです。